

使用料金単価算出資料

名称： 運動公園競技広場	根拠条例 都市公園条例
	担当課 生涯学習課

利用可能時間の算出 12 時間 (1日当たりの実質稼働時間) × 183 日 利用可能時間
 利用可能時間の算出 8 時間 (1日当たりの実質稼働時間) × 177 日 (1年当たりの実質稼働日数) = 3,612 時間

区分	1件/1時間当たり経費	積算内容
人件費	197.0 円	1件当たりの人件費 $3,941 \text{ 円} \div 60 \text{ 分} \times 3 \text{ 分} = 197.0 \text{ 円}$ 基準人件費/1時間当たり ・ 基準人件費年額 $7,942,312 \text{ 円}$ $\text{基準人件費年額} \div 2,015 \text{ 時間}$ $= 3,941 \text{ 円}$ 1件当たりの所要時間数(分) ・ 受付 1分 ・ 審査 1分 ・ 事務処理 1分 ・ 計 3分
物件費	181.7 円	1時間当たりの物件費(税込) ・ 年間印刷製本費 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (A) ・ 年間消耗品費 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (B) ・ 年間光熱水費 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (C) ・ 年間委託料 654,559 円 ÷ 3,612 時間 = 181.2 円 (D) ・ 年間賃金 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (E) ・ 年間通信運搬費 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (F) ・ 年間保険料 2,024 円 ÷ 3,612 時間 = 0.5 円 (G) ・ 年間賃借料 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (H) ・ その他 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 (I) 181.7 円 定員数 定員のある施設
減価償却費	908.1 円	1時間当たりの減価償却費(税込) 名称 実質取得価格 耐用年数 利用可能時間 建設費 98,410,200 円 ÷ 30 年 ÷ 3,612 時間 = 908.1 円 (A) 円 ÷ 年 ÷ 3,612 時間 = 円 (B) 円 ÷ 年 ÷ 3,612 時間 = 円 (C) 円 ÷ 年 ÷ 3,612 時間 = 円 (D) 円 ÷ 年 ÷ 3,612 時間 = 円 (E) 円 ÷ 年 ÷ 3,612 時間 = 円 (F) 908.1 円 定員数 定員のある施設
その他の経費	0.0 円	修繕費 0 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円 円 ÷ 3,612 時間 = 0.0 円
合計	1時間当たり (ア) 1,089.8 円 2時間当たり 2,179.6 円	現行使用料 1,620 円 改定上限使用料額 2,430 円 (ア) 2,179.6 円 × 100% (受益者負担率) = 2,180 円

※ 入場料を徴収する施設については、定員(最大収容人員)を加味してください。

※ 年間勤務時間(2,015時間)は、7.75時間/日×5日×52週で算定しています。